

## <金標準、トランプ買い、ハリス売りの大統領選・・・>



(出所：オアシス)

米国大統領選挙を控えて、市場は不確実性が高い思惑が強まり、大統領選を前にポジション調整の動きを強めている。特に金価格は、金利を生まない商品であり、通常は金利高に反比例して下げる値動きが付き物であるが、大統領選を控えトランプ氏、ハリス氏のどちらが勝利しても米国の財政赤字は拡大傾向であり、またトランプ氏であれば更なる赤字拡大が予想されるなど、不確実性が高くなる事から安全資産に逃避する動きが強まるとの見方が大勢を占めている。ただ10月10日以降、NY金は187ドル高、金標準先物も1318円の上昇を行うなど、大統領選に向けて買われ続けてきている。そのため目先、植田日銀総裁の記者会見での円高の動きや、テクニカル的な買われ過ぎのサインなどから利益確定の動きが強まり、不確実性に備える動きを見せている。

そのため目先大統領選で両候補の圧勝でない僅差の勝利であった場合は、敗北を認めない混乱から基軸通貨のドルの信用低下に伴い金価格は買われる動きに思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが下げだし、シグナルは切り上げている。RCIは短期が下げながら、長期は維持している。また日足が10日移動平均線を下回る確率が強まり、目先はテクニカルの悪さから13000円へ向けた値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,695,000 円(2024 年 11 月 5 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 84,480 円(2024 年 11 月 5 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>